



第106号



社会福祉法人恵風会・あざみ園・あざみ園保護者会

〒930-2102 富山市山田宿坊1-8 / TEL (076) 457-2301 / FAX (076) 457-2303
http://www.knei.jp/~azamien/ E-mail azamien@knei.jp

新年度を迎えて

園長 平田和靖

あざみ園は、懸案の大規模改修を終えて、一昨年の四月から障害者支援施設に移行し、施設入所と生活介護の夜間と日中の支援にメリハリを持たせて、安心・安全を第一に運営しております。

地域移行のケアホーム・グループホームと就労継続支援B型事業所どんぐり工房につきましても働く喜びとゆとりのある生活空間を提供し、地域での生活を定着させるための工賃向上に職員が一丸となって取り組んでいます。

本年1月20日、ニューヨークにおいて、我が国は「障害者の権利に関する条約」の批准書を国際連合事務総長に寄託しました。これによりまして、本条約は、平成26年2月19日から我が国において効力を生ずることとなりました。本条約は、障害者の人権や基本的自由の享有を確保し、障害者の固有の尊厳の尊重を促進するため、障害者の権利を実現するための措置等を規定しております。本条約の締結により、我が国において、障害者の権利の実現に向けた取り組みが一層強化され、人権尊重についての国際協力が一層推進されることとなります。条約批准に向けた障害者総合福祉法等の法整備によりまして、どんなに重い障害がある人も、できるだけ地域をベースとした生活が送れるように権利擁護することが義務化されております。

あざみ園につきましては、障害者支援施設として漸く軌道に乗り始めたところでありますが、真に利用者ニーズにマッチした施設づくりが進んでいるかという点と十分とは言えません。法律の改正は、サービスや生活環境の見直しの必要性を示唆しており、職員自らが危機意識を持って対応しなければならぬことに気が付かされます。今後は、利用者サイドに立ち本当に求められている施設とはどのような施設なのか。職員と一緒に考え改革してまいりたいと考えております。

「チェンジ&チャレンジ」

退職者あいさつ



管理課業務主任
伊藤 洋子

27年間調理員として働かせていただきました。4月1日からは嘱託調理員として働かさせていただきました。美味しいと言ってもらえるように、これからも引き続き真心こめて作りたいたいと思います。よろしくお願ひ致します。

離任者あいさつ



管理課長
窪野 達章

平成22年度から4年間の派遣の勤めを漸く終えることができました。大変な時期に派遣されてご苦労様でしたとの労いの言葉をたくさん頂戴して恐縮しております。毎日たくさん書類が机の上にあつて、書類の山を片付けながら施設整備に関する補助金申請等の事務を処理し、更にはこれからのあざみ園が共生型の施設として地域から評価が得られるようにと支援課職員と懸命に各種助成事業に取り組んだ4年間でありました。

障害福祉に係る法制度の変遷により、あざみ園が大きく変化し激動した4年間に役職員の皆様、保護者会の皆様、関係の上部機関の皆様にご指導とご鞭撻を賜り仕事をさせて頂いたことに厚く感謝申し上げます。

皆様には益々ご健勝であざみ園利用者の皆様がより安心で安全に自立に向けた支援が受けられますよう去りゆく身ではありますがご支援ご協力をお願い申し上げます。離任の挨拶といたします。

(あざみ園管理課長 ↓
八尾行政センター総務振興課)



管理課主幹
酒井 弘明

この度の異動により4月から富山市生活介護事業所あすなろで勤務することになりました。あざみ園開設当初からの27年間では、多くの経験と多くのことを学び、自分自身も大きく成長することが出来ました。皆様方には大変感謝するとともに本当にお世話になりました。今後はその積み重ねた経験と知識を日中活動支援に生かして行きたいと思っております。

(あざみ園管理課主幹 ↓
第1・第2あすなろ所長)

新任者あいさつ



管理課長
坪島 浩三

昭和六十二年あざみ園で、五十人の友達とそご家族に出会ったのを始め、平成元年に新しく、三十人、平成九年にあすなろで、四十人、十六年にさらに第二にて二十人、そしてつづじ三十人、このみで二十人。二十七年間で百九十人の友達、ご家族も合わせるとその三倍の人と出会いが生まれました。

恵風会に勤め、その方々に、どれだけのお力をお借りしたか。計り知れません。「感謝」

今後は、その「感謝」を共有できるような職責を果たして行きたいと思ひます。

(主幹・あすなろ所長代理 ↓
あざみ園管理課長)



管理課事務員
山本 普弥

この度、富山市生活介護事業所第一あすなろから、あざみ園の管理課事務員に異動になりました山本です。10年間、支援員として皆さんに関わってきましたが、4月からは事務員として違う形で皆さ

んの生活を支えることになりました。今現在は新しい仕事を覚えることに精いっぱい台風のような混乱の真つ最中ですが、一日も早く一人前の事務員になれるよう、切磋琢磨していきますのでよろしくお願ひいたします。

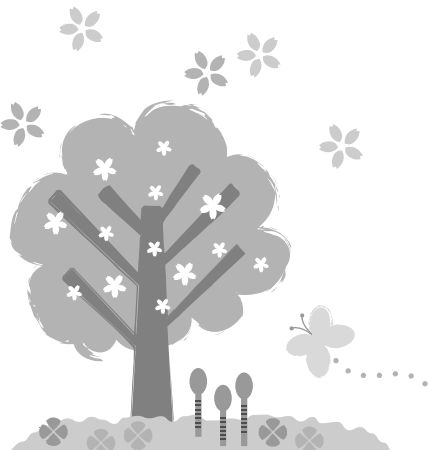
(第1あすなろ支援係生活支援員 ↓
あざみ園管理課事務員)

新規採用職員



生活支援員
荒屋 文博

はじめまして。4月からあざみ園の生活支援員助手になりました。荒屋です。分らないことが多いですが、早く利用者さんの力になれるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願ひします。



ゆとりの時間

カラオケ

H26.3.11、25

3月11日と3月25日、2グループに分かれてカラオケに出掛けてきました！それぞれ好きな歌を歌い、皆で盛り上げて楽しんできました♪



温泉(女性)

H26.2.19

やまぶき寮の皆さん5名で楽今日館に行き、女を磨いてきました。

今年は雪が少なかった上に、この日は暖かなお出かけ日和。でも露天風呂からは雪の神通峡が見渡せ、冬ならではの温泉を楽しみました。しっとりお肌になった後はガストに移動してティータイム。思い思いにデザートを選んで、のんびり。笑顔がはじけた外出でした。



温泉(男性)

H26.2.5

いい湯だな～♪ここは名湯「牛岳温泉健康センター」でございます！大雪だったけど温泉に入っちゃえば雪さえも風情に感じますね～。作業に汗を流すことも素敵ですが、時には男同士の裸のつき合いも大切な時間です！温泉でお肌ツルツル、体はポカポカ！俺たちますます良い男だろ～？



寒さなんかには、負けないぜ～！

かたくり寮 社会見学 H26.2.27

かたくり寮社会見学にてU. S. LAND高岡店に行ってきました。釣りやゲーム、カラオケ、バッティングセンターなど沢山の遊びを満喫してきました。お昼はあっふるぐりむでハンバーグやパスタ、ドリアにポテトにとんかつ♪たくさん楽しんだね!!



重機を運転するぞー!!



たくさん遊んだねー♪



遊んだ後はお腹が空くなぁ～



ふうーふうー・・・美味しそう♪

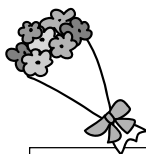
みずほ寮 社会見学 H26.3.18

午前中は四季防災館に行き、防災の勉強や地震や煙の避難体験をしました。午後からは大沢野のウィンディに行き、ランチバイキングや入浴を楽しみ、外出を満喫してきました。



自治会だより

H26.3.31



お別れ会

厨房の伊藤さん、管理課の窪野さんと酒井さんのお別れ会を開きました。出会いに別れはつきもの・・・。すごく悲しいけれど、きっとまた会えることを信じて笑顔でお別れです！伊藤さん、いつもおいしいご飯をありがとう！窪野さん、たくさん優しくしてくれて嬉しかったです！明るい酒井さん、ずっと大好きです！みなさんお元気で！



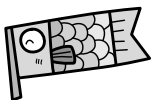
お三方には本当にお世話になりました！



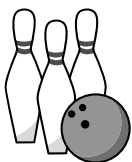
必ずまた会おうね！

行事のご案内

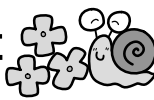
5 月のごかつの行事



- 6日 来園日
- 20日 ゆとりの時間 (ボウリング)



6 月の行事



- 1日 来園日
- 12日 日帰り旅行 1班
- 26日 日帰り旅行 2班
- 未定 ゆとりの時間 (いちご狩り)



7 月の行事



- 1日 日帰り旅行 3班
- 6日 来園日
- 未定 ゆとりの時間 (海水浴)



「どんぐり」ニュース

Y・Yネットと協力してハーブや野草を使ったパンをボランティアの皆さんと試作しました。6月の新商品販売開始にむけ着々と準備が進んでいます。



「赤田ホーム」ニュース

年度末会を開くにあたり

年度末会を開くにあたり、皆さんで話し合いました。お寿司が食べたい、ビールが飲みたいなど、色々な意見が飛び交いましたが、最終的にビールが飲みたいという意見にまとまり、年度末会は飲み会となりました。串物を食べながらビールを飲み、来年度も頑張ろうと言いながら乾杯をしました。

「羽根の家」ニュース フライングディスク大会に参加

総合体育センターへと向かう。参加予定であった米田さんは怪我のため、面谷さんは風邪のため不参加となる。天気に恵まれたこともあり、利用者はウキウキとしておりバス車内も賑わっていた。9時30分前に会場に到着し、トイレや準備等を済ませ開会式に出る。開会式を終えるとすぐに競技へと移る。競技は個人戦のアキュラシー競技（6メートル離れた標的に10投中何投ディスクを通過させられるかを競う）に選手全員が参加する。岩白さんや尾塩さんは真剣な顔つきで狙いを定める姿が印象的であった。釣さんや堀井さんのように「いっぱい入ったよ」と喜ぶ利用者もいれば、松田さんと渡辺さんは「入らんかった」と言って少し悔しがっていた。多くの利用者が笑顔で「楽しかった」と喜んでおり、無事に大会を終えることができた。

今後も大会に参加し、他の施設の参加者と交流を深めていきたいです。



職員研修参加報告

めひの野園 施設研修

生活支援員 松本 達也
生活支援員 石黒 雄太

2月18日に、めひの野園へ研修に行ってきました。ここでは、自閉傾向の強い方が多く作業支援に力を入れている施設でした。様々な作業支援に取り組んでおり、地鶏や鶏卵の販売、しいたけの栽培、和紙や織物の製作など数多くの作業をしていました。また作業分担は、利用者一人一人の特性に合わせているとのことでした。たくさんの方の作業をしていることもあり敷地がとて広く、建物も多くありました。今回は、ウォームワークやぶなみ、みしまの工房という所の、和紙班と機織り班の作業に参加させていただきました。

和紙班では、牛乳パックから和紙を作る工程に参加してもらいました。利用者の特性に合わせて、出来る作業を一生懸命行っていました。成形した和紙は、しおりや名刺、カレンダーとして販売しています。

機織り班では、基本的な作業は糸巻きと機織りをする工程で製作していただきました。器用な利用者の方が多く、丁寧に機織りをしていました。

今回、めひの野園での研修に参加させてもらい、作業支援に対して、

深く考えることができました。また作業内容が多くあることで利用者一人ひとりの特性に合わせてやすく、その特性に合った作業をすることで充実した日々を送ることができると感じました。今回、施設研修を通して学んだことを今後のグループ活動支援に活かしていきたいようにしていきたいです。

セーナー苑 施設研修

生活支援員 土林 正文
生活支援員 藤野 兼司

2月28日にセーナー苑へ研修に行ってきました。セーナー苑は障がいのある方が生活する「こだまの丘」の程度に合わせた様々な施設が苑内にあります。研修では行動障がいのある方が生活する「こだまの丘」、知的と身体障がいのある方が生活する「わかくさの丘」で研修させていただきました。

こだまの丘は、あざみ園と似ている施設で利用者の方々に合わせた支援を職員が行っていました。ユニットケアも行われており開放ユニットでは、利用者の方々がのびのびと過ごされています。閉鎖ユニットでもこだわりと上手につき合いながら生活に楽しみを見つけ出そうという

利用者の方々と関係性は非常に勉強になりました。

わかくさの丘では、あざみ園と違いほとんどの利用者の方が身体にも障がいを持っておられ車椅子を利用されています。移動や入浴、リハビリ等にたくさんの人手が必要となる為に職員数はあざみ園より多く、一人ひとりに対して充実した支援を行なっておられました。特にリハビリに関しては何回かの程度に合った細かなメニューを設定されておられ、見習うべき部分が多くありました。

セーナー苑で研修させていただいて、日々の何気ない支援をもう一度見直す事ができました。この経験を活かしより良い支援を行える支援者となっていきたいです。

平成26年度 虐待防止研修

支援課主査 北滝めぐみ

あざみ園では平成26年3月4日に、今年度の虐待防止研修を行いました。今年も昨年に引き続き会津短期大学の市川先生をお迎えして、午前中に講義、午後に演習の二本立てで一日研修を行っています。あざみ園だけでなく、あすなる、つつじ、このみの職員や当直専任、恵風会第三者委員にも参加していただき、総勢約44名で権利擁護について考えました。

講義の内容は「なぜ支援者が虐待に走るのかその心理過程」「虐待を防止・解決するために」「援助者



の怒りのセルフコントロール」で、午後にはあざみ園の利用者男女1名ずつの事例検討を演習形式で行っています。盛り沢山の内容ですが、参加者一人ひとりが自分の支援につ

いて振り返り、園全体で協力してどのような考え方のもと支援を行ったらよいのかを考えるよい機会になったと思います。虐待防止委員会は今年度、講師を迎えての研修会を行う以外にも、毎月の会議の場を利用して問題提起やミニ研修を行ったり、権利擁護を意識した事例検討の取り組みを続けてきました。利用者の権利を守るためにいる職員が、利用者の権利を侵害する存在にならないように、利用者の方から満足してもらええる支援をしていけるように、今後も日常的な取り組みを含めた提案や研修を続けていきたいと思っています。



保護者会コーナー

中越みのわの里見聞録

あざみ園保護者 中村美智子

冬も間近に感じる12月4・5日、育成会を代表するそうそうたるメンバー17人を乗せ、バスは一路新潟県長岡を目指して出発します。長岡の街は私にとって息子のてんかんで苦しんでいた幼少時代より、てんかん専門病院がある夢の街でしたが、障害の子を連れて遠く長岡まで行く事はかなわず、悶々と日を送っていた希望の土地でもあり、一度行きたいと願っていたので参加することに決めました。

1時から5時までの短い時間でしたが、延長案内のもと多くの施設を紹介していただき、福祉の街を、別世界に来たような陶酔した思いでその地に酔いしれた一時でした。

以下は施設長であり、みのわの里工房こしじの創始者、涌井幸夫氏にいただいた資料から抜粋し、その心をお伝えします。

「ギラツと輝く共生社会を目指して」

「お互いさま」の迷惑をかけながら支えあう地域づくり

「社会福祉法人中越福祉会みのわの里工房こしじ」の名前の由来はこの地域の地名「越路町」から。関越自動車道長岡インターから車で15分の町の中心にあります。

◎工房こしじの経過

- ☆一九八一年身体障害者療護施設を
- ☆一年後に知的障害者更生施設を開設
- ☆一九九五年最初のグループホーム
- ☆一九九六年に通所授産施設「工房ますがた」開設し、地域福祉に積極的
- ☆一九九九年、現在では共同生活住居15ヶ所95名、通所事業所（就労移行、就業継続B、生活介護者等）9ヶ所を事業展開しています。

☆二〇〇三年工房こしじ設立、「福祉はサービス業である」ということを職員全員が認識し、どんな小さな相談があつても真摯に向き合うことが大切である。ということをもットローに様々な取り組みをしています。

作業種も企業と連携を重視し、20社以上の企業から下請け的作業を受託しています。また、長岡市から「障害者福祉施設受託業務開拓・授産製品販売拡大事業」を委託され「共同販売ネットワーク」として企業や団体のスペースを借り、自主作業製品を販売しています。

☆グループホーム・ケアホーム事業

第一号以来、

毎年1ヶ所ずつ増やし、現在では15ヶ所になり、重度の障害のある方中心にした完全バリアフリーケアホームがオープンされました。最初は地域の反対もありましたが、ホームを



みのわの里更生園
新しい正面玄関とユニット棟

増やすことに徐々に理解が深まり、世話人さんも隣近所の方が多く、今では私の家を使って下さい、世話をさせて下さいとの要望に変わっています。

●安心・安全コールセンター

365日24時間安心・安全を保障しています。「いざという時の駆け込み寺」として、一般の方で精神的に苦悩されている人も受け入れ、短期入所も併設し安心システムになっています。

涌井幸夫施設長の信念と理念

平成6年に入所更生施設の一一般就労を発端にグループホーム「しづみ寮」を開設。それが地域福祉に取り組みの第一歩でした。

保護者に「就労はどうですか？」の打診に「反対です。ずっと置いてほしい」の答えに、どうして反対するのかと考えました。

それは施設職員の考えが誤っていたのではないかと。家族に頼らなければ就職できないことと自分がおかしい「反対するのは家族の理解不足にできた自分たちの姿勢に問題がある」と感じた。「必要があれば生涯支えていきますよ」の姿勢に変え、本人・保護者の安心感を支えていくことを理念としていった。

「開かれた施設を目指して、地域とともに」を運営の基本にして、地域交流活動（地域の牛乳パック回収、外出、買い物、在宅障害者の集い各種行事等）のPRを行いました。その結果、ごく自然に理解者が増え、その上収入も増加しました。

コ★ラ★ム

障害の重い人には、地域の方が「有償作業支援員（一人三五〇円）」として、利用者と一緒に作業をしていた。地域での応援団になつてくれました。以前の地域の理解不足は「知らないことから始まる差別と偏見」は解決し、今では人口一万四千人の地域に五九三名の障害者が生活するあたりまえの社会になりました。

- ☆地域コミニティに学童保育開園
- ☆一般企業への参入（スマイルセンター三喜）一般企業（段ボール作業）の中で一般人と共に働き、付添職員も参加で成功しました。

この地域で「お互いさまの迷惑をかけながら生き生きと暮らし働き続けること」「障害者の生活を支援することはもちろんだが、障害者支援を通して地域社会を変えていくことが、われわれの仕事だと考えています。」

今年のソチオリンピックでの一番の注目は、フィギュアスケートの浅田真央選手でした。残念ながらメダルは取れませんでした。皆が感動し涙する素晴らしい演技でした。続く三月には世界選手権に出場し、金メダルを獲得。見事リベンジを果たしました。どちらの試合も自分の力を出し切って満足した演技だったと言ひ、今後現役を続行するかはまだ迷っているようです。

浅田選手は長い間、期待やプレッシャーなどいろいろなものと戦ってきました。採点競技の曖昧さにより自分の思った点数が出ないことが続き、いつしか「点数や順位は気にしない。満足できる演技をするだけ」と言うようになりました。その心境を思うと、ファンとしてはまだ続けてもらいたい気持ちと、もう休んでほしいという気持ちがあります。

彼女がどう決断するかは分かりませんが、後は幸せな人生を送ってほしいと願います。

職員のスズ

私のすきなこと

吉田 彩峰 支援員編

私は、ハローキティとライブに行くことが好きです。キティちゃんのグッズを集めたり、キティカフェへ行ったり、ライブで県外へ行くことが増え、旅行先での友人も増えました。

ライブへ行くときは、友人と服装や髪型を決めたり、応援うちわを作成したり、ライブを楽しめるように考えています。これからもキティちゃんのものをもたくさん集め、癒され、ライブでいろいろなところへ出掛け、各地で友達を増やしていきたいみんなを集まってライブを盛り上げていきたいなと思っています。



今回は小林事務員編です。お楽しみに!!



善意の心

ありがとうございます

(平成26年2月〜平成26年4月(敬称略))

あざみ園保護者会

あざみ園へ来園された皆さん

(平成26年2月〜平成26年4月(敬称略))

【来園者】

・富山市職員研修所 経明 勝子

・Y・Vネットソーシャルファーム協議会委員

【転任・退任あいさつ】

・富山市立山田小学校 校長 町 良子

・富山市立山田小学校 校長 岩折 葉子

・富山市立山田中学校 校長 田島由紀恵

・富山市立山田中学校 校長 林 俊樹

・富山市立山田中学校 校長 岡田 忠夫

・富山市立山田中学校 校長 森田 健介

・富山市立山田中学校 校長 吉藤 重弘

・富山市立山田中学校 校長 金井 重弘

・富山市立山田中学校 校長 井上 裕子

・富山市立山田中学校 校長 若林 美雪

・富山市立山田中学校 校長 白石 正行

・富山市立山田中学校 校長 高林 豊

・富山市立山田中学校 校長 滝上 正行

・富山市立山田中学校 校長 中川 隆司

・富山市立山田中学校 校長 高地 修

・富山市立山田中学校 校長 副主幹 中川 隆司

・富山市立山田中学校 校長 指導係長 高地 修

・富山市立山田中学校 校長 指導係長 高地 修

・富山市立山田中学校 校長 指導係長 高地 修

・富山市立山田中学校 校長 指導係長 高地 修

・富山市立山田中学校 校長 指導係長 高地 修

・富山市立山田中学校 校長 指導係長 高地 修

・富山市立山田中学校 校長 指導係長 高地 修

・富山市立山田中学校 校長 指導係長 高地 修

・富山市立山田中学校 校長 指導係長 高地 修

・富山市立山田中学校 校長 指導係長 高地 修

・富山市立山田中学校 校長 指導係長 高地 修

・富山市立山田中学校 校長 指導係長 高地 修

・富山市立山田中学校 校長 指導係長 高地 修

・富山市立山田中学校 校長 指導係長 高地 修

職員の異動

【定年退職】平成26年3月31日付

◇伊藤 洋子 (あざみ園管理課業務主任)

【人事異動】平成26年4月1日付

◇坪島 浩三 (主幹・あすなる所長代理→あざみ園管理課長)

◇田中由美子 (支援課主任→あざみ園支援課主査(兼務) どんぐり工房サービス管理責任者)

◇北滝めぐみ (支援課主任→あざみ園支援課主査(事務取扱) 相談支援専門員)

◇山本 普弥 (第1あすなる支援係生活支援員→あざみ園管理課事務員)

【転任者】

◇窪野 達章 (あざみ園管理課長→八尾行政センター総務振興課)

◇酒井 弘明 (あざみ園管理課主幹→第1・第2あすなる所長)

【新規採用職員】

◇荒屋 文博 (支援課生活支援員)

実習生

○保育実習

富山短期大学幼児教育学科1年

・2月17日〜3月1日

栗原 燈、平永 静香、堀内 愛

・3月3日〜3月15日

茂 真美子、中瀧 喜乃

編集後記

4月1日から消費税がUPしました。それに合わせて私のお小遣いはDOWNしました・・・

